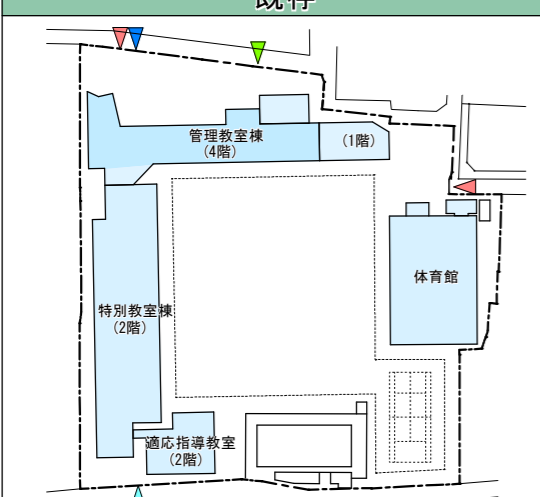
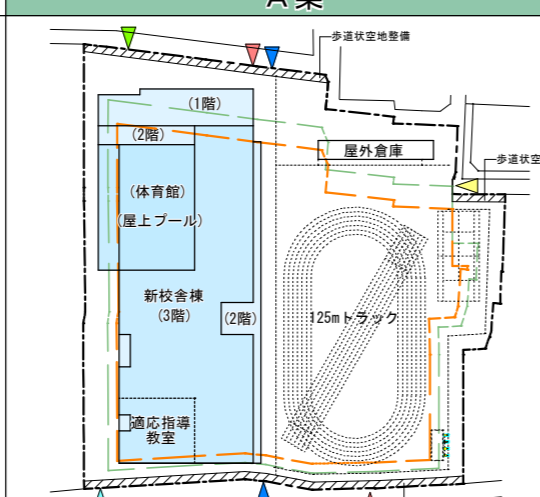
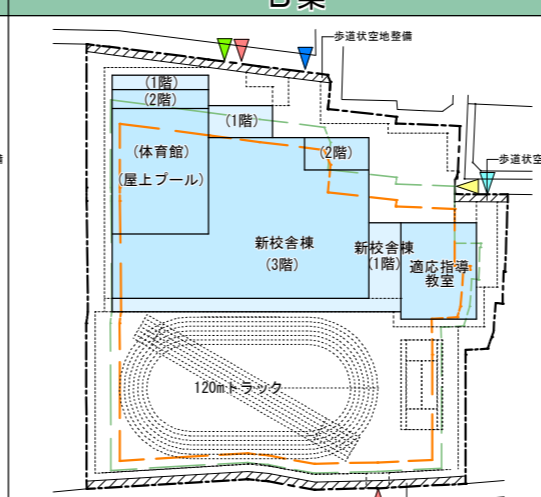
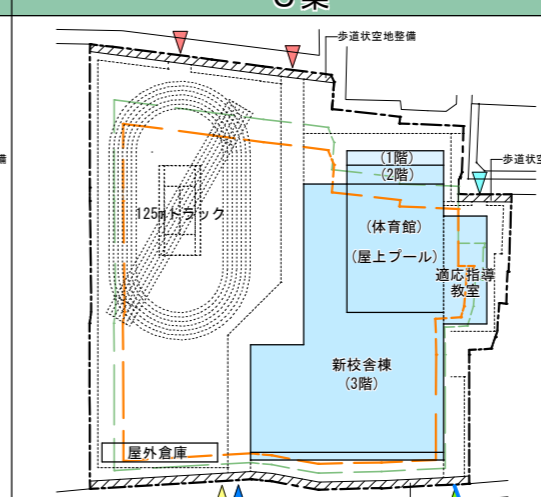
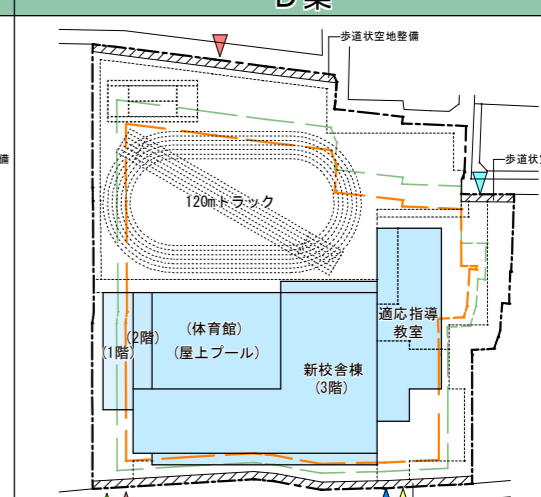


既存			A 案			B 案			C 案			D 案		
 <p>延べ面積：約6,600㎡ 校庭面積：約4,000㎡</p> <p>▲：生徒用 ▲：地域開放用 □：校庭範囲 ▲：通用口 ▲：給食用 ▲：適用指導教室用</p> <p>—：建築可能高12m —：建築可能高15m</p>			 <p>延べ面積：約8,650㎡ 校庭面積：約4,100㎡</p> <p>▲：生徒用 ▲：地域開放用 □：校庭範囲 ▲：通用口 ▲：給食用 ▲：適用指導教室用</p> <p>—：建築可能高12m —：建築可能高15m</p>			 <p>延べ面積：約8,800㎡ 校庭面積：約3,950㎡</p> <p>▲：生徒用 ▲：地域開放用 □：校庭範囲 ▲：通用口 ▲：給食用 ▲：適用指導教室用</p> <p>—：建築可能高12m —：建築可能高15m</p>			 <p>延べ面積：約8,550㎡ 校庭面積：約4,200㎡</p> <p>▲：生徒用 ▲：地域開放用 □：校庭範囲 ▲：通用口 ▲：給食用 ▲：適用指導教室用</p> <p>—：建築可能高12m —：建築可能高15m</p>			 <p>延べ面積：約8,700㎡ 校庭面積：約4,200㎡</p> <p>▲：生徒用 ▲：地域開放用 □：校庭範囲 ▲：通用口 ▲：給食用 ▲：適用指導教室用</p> <p>—：建築可能高12m —：建築可能高15m</p>		
比較項目		改築基本方針該当番号												
校舎環境	床面積	I, II, V	△	・約8,650㎡ ・I型2列配置となるため廊下面積が多い	△	・約8,800㎡ ・適応指導教室が2層分となり、廊下・階段床面積が多い	△	・約8,550㎡ ・T型配置のため、廊下面積が多い ・建設エリア制約により、建設可能範囲が小さくなる。	△	・約8,700㎡ ・L型配置のため、廊下面積が多い				
	教室配置	I, II, III, V	○	・普通教室は2、3階東側に配置、特別教室は2、3階西・南側に集約 ・適応指導教室は南西に配置	△	・普通教室は2、3階東・南側に配置、特別教室は2、3階北側に集約 ・適応指導教室は北東に配置	△	・普通教室は2、3階東・南側に配置、特別教室は2、3階北側に集約 ・適応指導教室は北東に配置	△	・普通教室は2、3階北・南側に配置、特別教室は2、3階東側に集約 ・適応指導教室は北東に配置				
	窓先の環境、日照、採光	I, III, IV	○	・普通教室は東側採光・日照、特別教室は南・西側採光	○	・普通教室は南・東側採光・日照、特別教室は南・北側採光	△	・普通教室は南・東側採光・日照、特別教室は南・北側採光	△	・普通教室は南・北側採光・日照、特別教室は南・東側採光				
	通風	I, III, IV	○	・普通教室に開口部、廊下(南北)に開口部を設け通風を確保	○	・普通教室に開口部、廊下(東西)に開口部を設け通風を確保	○	・普通教室に開口部、廊下(東西)に開口部を設け通風を確保	○	・普通教室に開口部、廊下(東西)に開口部を設け通風を確保				
	動線・アクセス	V, VI	○	・生徒は南北、適応指導教室は南西、開放は東と分離	△	・生徒は北、適応指導教室と開放は東だが通用門を分離	△	・生徒は北、適応指導教室と開放は東だが通用門を分離	○	・適応指導教室は東と生徒・開放は南で重複				
校庭環境	校庭配置、形状、広さ	I, III, VI, VII	○	・南側配置、東西長辺、既存よりも広くなる(現況+100㎡程度)	△	・東側配置、南北長辺、既存より狭くなる(現況-50㎡程度)	○	・東側配置、南北長辺、既存より広くなる(現況+200㎡程度)	○	・北側配置、東西長辺、既存より広くなる(現況+200㎡程度)				
	日照	I, III	○	・冬季、午後にかけて一部に日影が生じる	○	・校庭にほとんど日影が生じない	○	・冬季、午前にかけて一部に日影が生じる	△	・冬季、校庭中央に終日日影が生じる				
周辺環境	車両アクセス	I, III, V	○	・北門・南門・東門からアクセス可能	○	・南門からアクセス可能	○	・北門・南門からアクセス可能	△	・北門・東門からアクセス可能				
	日影	III	△	・西側の日影範囲が既存より増える	△	・西及び北側の一部の日影範囲が既存より増える	△	・北側の一部の日影範囲が既存より増える	○	・周辺街区に終日日影の影響				
地域開放	校庭の騒音・砂埃	IV	△	・南側街区、北側街区の一部、東側街区に影響あり	△	・東側街区、西側街区の一部、南側街区に影響あり	△	・南側街区、北側街区の一部、東側街区に影響あり	△	・東側街区、西側街区の一部、北側街区に影響あり				
	周辺への圧迫感	IV	○	・校舎は高くなるが既存より離隔する	○	・西側の一部が既存校舎より高くなるが、南西・北側は軽減する	○	・校舎は高くなるが既存より離隔する	△	・東西は軽減するが、南側街区への影響あり				
	地域利用諸室のまとまり	V	○	・開放エリアが1Fに集約	○	・別棟に集約し、直接アクセス可能	△	・開放エリアが1階に集約、ただし昇降口を利用する	○	・開放エリアが1階に集約、直接アクセス可能				
	セキュリティ	V	○	・開放エリアの設定がしやすい	○	・開放エリアの設定がしやすい	△	・開放エリアの設定がしにくい	○	・開放エリアの設定がしやすい				
防災面	防災面	VII	△	・屋内から防災倉庫へアクセスできない	△	・屋内から防災倉庫へアクセスできない	△	・屋内から防災倉庫へアクセスできない	△	・防災倉庫が2階配置となる				
	工事中の既存施設利用	I, III	○	・既存体育館が利用できる	○	・既存体育館が利用できる	○	・既存校舎が利用できる	○	・既存校舎棟(管理教室棟)が利用できる				
工事計画	仮設校舎	I, III	△	・工事中は仮設校舎(管理教室棟・特別教室棟)が必要	△	・工事中は仮設校舎(管理教室棟・特別教室棟)が必要	△	・工事中は仮設校舎(体育館)が必要	△	・工事中は仮設校舎(特別教室棟)が必要				
	工事中の校庭	I, III	○	・校地内に一部確保できる(環境整備工事期間を除く)	△	・ステップ4の段階で校地内に確保が困難となる	△	・ステップ5の段階で校地内に確保が困難となる	○	・校地内に一部確保できる(環境整備工事期間を除く)				
工事期間			○	・事前解体工事 6ヵ月 ・仮設校舎建設工事 12ヵ月 ・新校舎建設工事 33ヵ月 ・既存校舎等解体工事 8ヵ月+6ヵ月 ・環境整備工事 10ヵ月 計 75ヵ月	△	・事前解体工事 6ヵ月 ・仮設校舎建設工事 12ヵ月 ・新校舎建設工事 25ヵ月 ・既存校舎等解体工事 8ヵ月+6ヵ月 ・環境整備工事(2期新校舎建設工事を含む) 18ヵ月 計 75ヵ月	○	・事前解体工事 6ヵ月 ・仮設校舎建設工事 10ヵ月 ・新校舎建設工事 34ヵ月 ・既存校舎等解体工事 4ヵ月+8ヵ月 ・環境整備工事 9ヵ月 計 71ヵ月	△	・事前解体工事 6ヵ月 ・仮設校舎建設工事 10ヵ月 ・新校舎建設工事 25ヵ月+16ヵ月 ・既存校舎等解体工事 6ヵ月+6ヵ月+4ヵ月 ・環境整備工事 7ヵ月 計 80ヵ月				
	仮設校舎利用期間			40ヵ月		28ヵ月		38ヵ月		52ヵ月				
新校舎供用開始時期				令和13年8月		令和14年12月		令和13年3月		令和14年8月				

※今後の計画の検討により評価が変更となる可能性があります。
※第5回懇談会資料から追加・修正している箇所を赤字にしています。
※工事期間、概算工事費については、あくまで現段階の想定であり、実際には前後する可能性があります。